

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制（新規）

新規届出時の状況について記載する事項
（□には、適合する場合「✓」を記入すること）

(1) 病院勤務医の勤務時間及び当直を含めた夜間の勤務状況の把握

ア 医療機関に勤務する医師数 (令和 年 月 日時点)	常勤: ()名	非常勤: ()名
	宿日直(＊1)を担当する医師数: ()名(うち非常勤()名)	
＊1 宿日直については、平日の平均的な1日における体制を記載すること		
イ 病院勤務医の勤務状況の把握等(令和 年 月分)		
(ア) 勤務時間の具体的な把握方法 ☐ タイムカード、ICカード、パソコンの使用時間 ☐ その他、客観的な記録方法 (具体的に:)		
(イ) 勤務時間以外についての勤務状況(＊2)の把握内容 ☐ 年次有給休暇取得率 ☐ 時短勤務実施者(＊3)数 ☐ 育児休業・介護休業の取得率 ☐ その他 (具体的に:) ＊2 前年度の実績を記載。 ＊3 所定労働時間をあらかじめ減じた勤務体制としている者		
(ウ) 病院勤務医の勤務時間及び当直を含めた夜間の勤務状況の把握 ☐ 勤務時間及び当直を含めた夜間の勤務状況を把握している		
(エ) その他(自由記載・補足等)		
ウ 前年度1年間における時間外・休日労働時間が一定時間を超える医師の人数について 1,635時間超 ()名 1,560時間超 ()名 ☐ 医師の時間外・休日労働時間について基準を超える場合、理由及び改善のための計画を公開している。 ※ 特定地域医療提供医師又は連携型特定地域医療提供医師について、令和8年度において1,635時間、令和9年度において1,560時間を超える時間外・休日労働時間を行った医師がいる場合、当該保険医療機関の見やすい場所及びホームページ等に掲示する等の方法で公開することとされている。		

(2) 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制

ア 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する責任者	氏名:	職種:
イ 多職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議	開催頻度: _____回／年 参加人数: 平均 _____人／回 参加職種()	
ウ 医師労働時間短縮計画	☐ 計画策定 (初回の策定年月日: 年 月 日) (直近の更新年月日: 年 月 日) ☐ 都道府県への提出 (初回の提出年月日(又は提出予定日): 年 月 日) ※ 特定労務管理対象機関である場合に記入。 ☐ 職員に対する計画の周知	
エ 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組事項の公開	☐ 医療機関内に掲示する等の方法で公開 (具体的な公開方法)	

(3) 医師労働時間短縮計画の具体的な取組内容

(ア)～(ス)の項目について、医師労働時間短縮計画への実績及び目標等の記載の有無

(ア) 労働時間管理方法

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(イ) 宿日直許可の有無を踏まえた時間管理

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(ウ) 医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続き等

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(エ) 労使の話し合い、36協定の締結

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(オ) 衛生委員会、産業医の活用、面接指導の実施体制

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(カ) 追加的健康確保措置の実施(記載は任意)

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(キ) 意識改革・啓発

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(ク) 策定プロセス

☐ 記載あり

(ケ) タスクシフト・シェア

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(コ) 医師の業務の見直し

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(サ) その他の勤務環境改善

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(シ) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理(該当者がいる場合)

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

(ス) C-1水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率化(該当者がいる場合)

☐ 実績 ☐ 年度目標 ☐ 計画終了年度の目標

[記載上の注意]

当該保険医療機関の「医師労働時間短縮計画」を添付すること。